



あけぼのつうしん

No.64

2018年12月21日発行

〔目次〕

| | |
|----------------------------|----|
| ■ <報告>胆振東部地震による被害状況から | 1 |
| ■ 平成30年度市町村活動支援事業の実施状況から | |
| (1) 重点運営支援事業(津別町) | 4 |
| (2) 運営相談事業(上砂川町) | 5 |
| ■ 道内図書館(室)魅せる工夫あれこれ | 6 |
| (1) 上砂川町民センター図書室 | |
| (2) 知内町中央公民館図書室 | |
| (3) 岩見沢市立図書館 | |
| (4) 古平町文化会館図書室 | |
| ■ 情報BOX | |
| (1) 新しい図書館がオープン!! | 7 |
| (2) はじめました!道立高等学校図書館運営相談事業 | 8 |
| (3) 平成30年度全道図書館長会議報告 | 9 |
| ■ 道立図書館からのお知らせ | 10 |

■ <報告>胆振東部地震による被害状況から

今年9月6日に発生した胆振東部地震により、全道で停電したほか、前日の台風21号の影響もあり、倒木や住居崩壊など、北海道は大きな被害に見舞われました。長期にわたり避難所生活を送っている方もいらっしゃいました。

一方、携帯電話の充電のために非常用電源を提供したり、避難所に本を届けたりするなどして、不安な生活をしている住民に手助けや癒やしを提供した図書館もありました。

今号では、今回の地震による被害の大きかった胆振・日高・石狩管内の図書館・図書室の状況について、把握できた範囲で報告するほか、要請のあった図書館等への復旧支援について報告します。

●安平町追分公民館図書室・早来公民館図書室

安平町には、追分、早来の2つの図書室があり、いずれも震度6強の地震により書架から本が多数落下しました。早来では倒壊した書架もありました。書架へ本を戻すのを機に、古くて利用の見込めない資料については除架・除籍をすすめたいとの希望を受け、当館職員が3日間伺い、除籍資料の選定のお手伝いをしました。



安平町追分公民館図書室（立入禁止時）

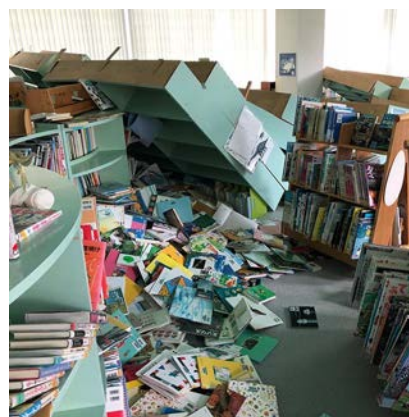


除籍予定の図書を再確認

●むかわ町立穂別図書館・四季の館まなびランド図書室

むかわ町には図書館が1館、図書室が1室あり、震度6強だった穂別図書館では、背の高い一般書の書架が全て倒壊し、本が落下しました。恐らく道内の図書館・室では、一番被害が大きかったものと思われます。壊れた書架の撤去や、落下した本の整理は、多くのボランティアの方々の支援により行われました。

図書館にはこれから新しい書架が入り、再開に向けて準備を進めているところです。当館でも随時状況を確認させていただき、今後も相談等の支援を続けていきます。



むかわ町穂別図書館

また、まなびランド図書室は11月1日（木）から図書室を再開することができ、これまで利用できなかった分、より多くの町民に利用されています。

■ <報告>胆振東部地震による被害状況から

● 地震直後の状況（胆振・日高・石狩）

胆振東部地震のあと、平成30年9月11日から11月1日の間で当館で行った聞き取り調査や、被害の大きかった図書館（室）からの報告を元に、当館ホームページの図書館ポータルで随時お知らせしてきたものを一覧にまとめました。（被害状況は、当時のものです。）

道内図書館（室）被害状況（把握しているところ）

| | 管内 | 市町村名 (または施設名) | 被害状況 | 通常再開 |
|---|--------|-------------------|--|------------------------|
| 1 | 胆 振 | 厚真町青少年センター図書室 | <ul style="list-style-type: none"> 書架から本が多数落下したが、棚は倒れず、破損もなかった。 落下した本は書架に戻されているが、請求記号（分類）順にはなっていない。正しい配架は折を見て行う。 資料の大きな破損はない。 | 10/1(月)～ |
| 2 | | 安平町追分公民館図書室 | <ul style="list-style-type: none"> 書架から本が多数落下したが、棚の破損はない。 本は落下した棚近くの床に平積み。資料の大きな破損はない。 開架部分は「立入禁止」としているが、避難所にいる方の要望にできるだけ応えるよう平積みの本から提供している。 | 10/16(火)～ |
| 3 | | 安平町早来公民館図書室 | <ul style="list-style-type: none"> 倒壊した書架がいくつかある。 本の多くは床に落下した。 地震時、図書室のドア（入口）も落下した本で開かない状況だった。 落下した本は床に平積み。 ゆがんだ書架と床の間に挟まって取り出せない本がある。 資料の大きな破損はない。 | 10/16(火)～ |
| 4 | | むかわ町立穂別図書館 | <ul style="list-style-type: none"> 施設は大きな被害なし。床・壁については町で調査中。 児童コーナーの低書架を除き、ほとんどの書架が倒壊、本が落下。 資料は落下するも破損は多くはない 担当職員が避難所対応から本来業務優先に（9月18日～） | 再開未定 ※地震後は移動図書館で活動中 |
| 5 | | むかわ町四季の館まなびランド図書室 | <ul style="list-style-type: none"> 施設は大きな被害なし 書架は一部倒壊 資料はほぼすべて落下 担当職員は本来業務を優先している（地震直後から） 開架スペースの書架の多くが倒れたが、現在は戻されている。 本の多くは棚から落ちた。 現在は、上段の棚には本は置かず、ほとんどの本を床に平積みしている。 開架スペースの照明が一部破壊、天井材も一部剥離している。 | 11/1(木)～ |
| 6 | 日 高 | 日高町立日高図書館郷土資料館 | 落下物：なし（本が倒れていたくらい） 館内：閲覧室暖房（天井）のカバー（蓋）が外れかける（11日修復済み） | 9/7(金)～ |
| 7 | | 日高町立門別図書館郷土資料館 | 蔵書約11万冊のうち、約2万5千冊程度が落下（開架・閉架・移動図書館内） 破損図書：10冊程度 書架が倒れたもの数本と、側板はずれたものが2本 | 9/11(火)～ |

■ <報告>胆振東部地震による被害状況から

| | 管内 | 市町村名 (または施設名) | 被害状況 | 通常再開 |
|----|----|--------------------|--|------------------|
| 8 | 日 | 新冠町レ・コード館 図書プラザ | 一時停電したが、6日中に通電し、システムへの影響や大きな被害はなし。 | 9/7(金)～ |
| 9 | | 平取町立図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・開架の資料8～9割落下 ・書架自体は破損無し ・キッズルームの照明に問題あり。 ・エアコンのダクトが2か所破損 ・開架の天井部分に亀裂あり。点検の結果、構造上は落下しないとのこと | 9/13(木)～ |
| 10 | | 新ひだか町図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の落下(約三千冊) ・書架の破損無し ・空調機の蓋のズレが数か所発生 | 9/8(土)～ |
| 11 | | 新ひだか町三石分館 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料が数十冊落下 ・書架の破損無し ・設備の破損無し | 9/8(土)～ |
| 12 | | 浦河町立図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・本が倒れる等の被害無し ・建物への被害無し | 9/8(土)～ |
| 13 | | 町立様似図書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・書架・棚への被害なし ・排煙窓が数か所、開かなくなった ・一部電気及び暖房の通風孔にゆがみ・ひび | 9/7(金) 15:00～ |
| 14 | 石狩 | 江別市 | 施設：損傷なし。停電により館内放送設備故障。 図書：本館 100冊ほど、江別分館 200冊ほど落下していたが、いずれも破損等無し。 | 9/11(火)～ |
| 15 | | 千歳市 | 施設：損傷無し。(停電により断水) 図書：数冊の図書と数枚のCDの落下程度。 | 9/9(日)～ |
| 16 | | 恵庭市 | 施設：損傷なし。停電により非常口案内音が誤作動。 図書：2分館で多く本が落ちていたが、本館は数える程度。 いずれも破損はしていない。 | 9/12(水)～ |
| 17 | | 北広島市 | 本館：ネットワーク系障害 分室：本の落下が見られた。 | 9/11(火)～ |
| 18 | | 石狩市 | 施設：天井の空調吹出口、照明等の接合部の損壊。閲覧室内壁面に亀裂。 図書：本館で約 12,650冊の落下。それによる破損 15冊。 | 9/7(金)～ |
| 19 | | 当別町 | 施設：損傷なし。 停電により機械警備、パソコン、コピー機が停止。 図書：本が少し倒れていたがいずれも損傷はしていない。 | 9/7(金)～ |

被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

図書館運営や図書の整理等でお困りの際は、当館までご連絡ください。

【連絡先】：北海道立図書館企画支援課

TEL：011-386-8521
FAX：011-386-6906



■ 平成 30 年度市町村活動支援事業の実施状況から

(1) 重点運営支援事業●津別町

- ・読書の記録を通帳に！
- ・「子どもの読書推進計画」の策定に向けて相談事業を実施！

津別町では、5月に続き、7月と11月にも運営相談事業を実施しました。

7月は、当館から毎月送っている新刊書の利用状況の確認や、その広報、図書館の活用促進について相談し、中高生向けのチラシの配付や、町内のイベントに合わせた企画展示の実施を検討しました。また、貸出中の記録を貯金通帳のように印字できる機械の9月導入に向け、その運用や広報について、他の導入館の事例を紹介するとともに、セレモニーの実施や報道への投げ込みなど町民の利用につなげる工夫について話し合いました。

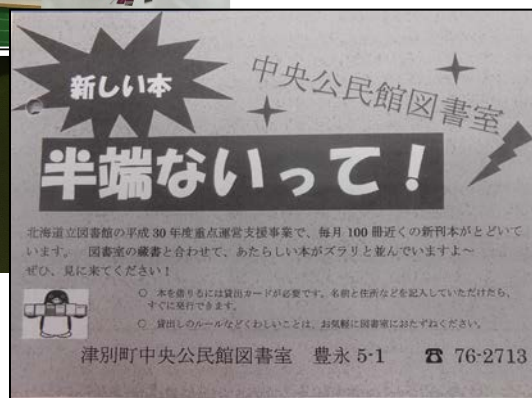
11月は、子どもの読書推進計画の策定のための相談を中心に、オホーツク教育局教育支援課社会教育指導班も加わって、具体的な内容の相談を進めたほか、来年2月に予定している学校図書館ブックフェスティバル事業について打合せを進めました。

津別町では「まちなか再生基本計画」(H30～39)に基づき、図書館と交通拠点施設の複合施設の検討が着実に進んでおり、これからは町民のニーズを把握するための方法の検討も課題となっています。2月にも学校ブックフェスティバルに合わせて運営相談事業を実施する予定です。



左) 機械導入初日の9月11日には、教育長から小学生への通帳プレゼントセレモニーがありました。くす玉は手作りです！

下) 中高生向けのチラシ



■ 平成 30 年度市町村活動支援事業の実施状況から

(2) 運営相談事業●上砂川町

運営相談事業は、市町村立図書館（室）の活動を活性化するため、運営全般について助言等の支援を行うものです。道立図書館の職員が市町村立図書館（室）や教育委員会を訪問し、助言や情報提供を行っています。

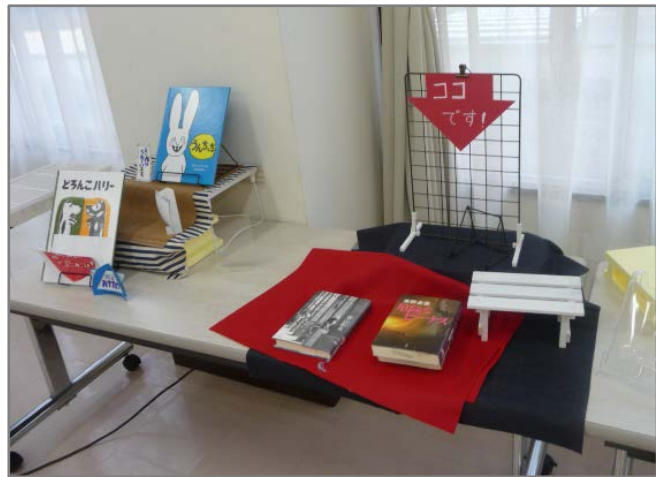
8月28日、上砂川町民センター図書室で、「POPの作り方を主として、目を引く展示の仕方など、お客様への本の見せ方について知りたい」という要望に応え、運営相談を実施しました。

持参したPOP例を見てもらいながら、基本的な構成の説明をしたあと、実際におすすめ本のPOPを制作しました。初めての作業ということもあり、戸惑いながらではありましたが、熱心に自分の選んだ本が、POPを見た利用者にとってより魅力的に感じてもらえるよう、作業を進めている様子が印象的でした。

また、市販のPOP立てや、簡単なPOP立て作りについても情報提供を行いました。

テーブルの隅やカウンターの端などでもできる小規模展示は、図書室にあるものを工夫して使うことで、多様な見せ方ができます。紹介したPOPとあわせて、図書室で展示用に購入したという色布やスチロールブロックなどのグッズを用いて、レイアウトの例を紹介しました。

最後に実際の書架を見ながら、本の配架についてもアドバイスをを行いました。必ずしもNDC順でなくとも、動線を考慮しながら、利用頻度の高いジャンルの本を、手に取りやすい位置に配架するなどの工夫ができることもお伝えしました。



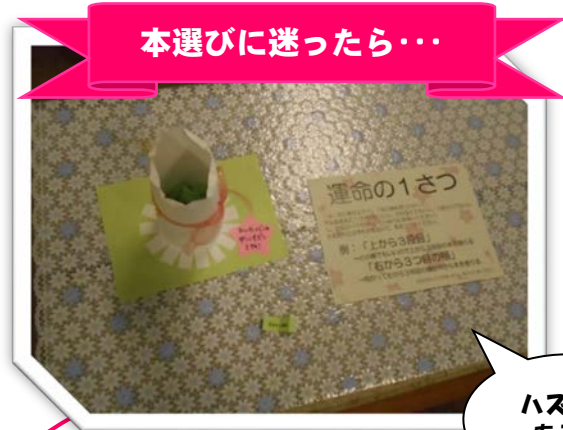
小規模展示レイアウトの参考に…

■ 道内図書館（室）魅せる工夫あれこれ

今年度訪問した図書館・図書室では、読書へ誘う工夫があちこちでされていました。その中から、いくつかをご紹介します。



(1) 上砂川町民センター図書室
 図書室までの道が一目瞭然！
 犬の足あととは、地元の子どもたちが色を塗りました。

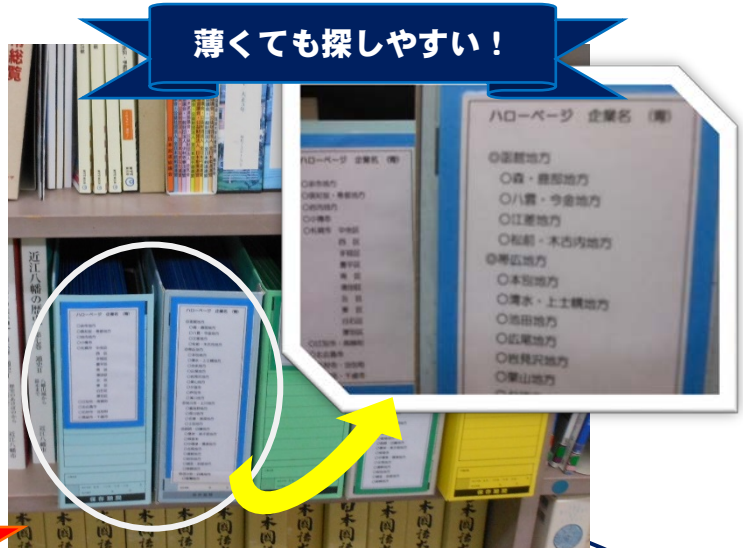


(2) 知内町中央公民館図書室
 名付けて「運命の1さつ」！
 「え～なに借りよう？」「なに読めばいいの～？」
 そんな人たちに救いのくじ。
 「右から三つ目の棚」など、来館した迷える子羊たちの本選びをリードします。



本日のお買い得は...

(3) 岩見沢市立図書館
 その日の分だけ新聞の折込広告も閲覧できるようにしています。
 意外と「見たい！」という人は多いかも？



(4) 古平町文化会館図書室
 薄くて扱いづらい電話帳の収納にひと工夫。
 ケースファイルに横に収めて扱いやすく、正面に市町村名を表示して探しやすいようにしています。
 すぐにでも取り入れたいアイデアです。

■ 情報 BOX

道内の図書館・図書室の活動や、会議報告等の身近な情報をお届けします。

(1) 新しい図書館がオープン！！

今年度、新しくオープンした図書館を2館ご紹介します。

● 札幌市図書・情報館（平成30年10月7日（日））

札幌市民交流プラザ内に、仕事や暮らしに関する図書や情報を提供する知的空間として新しくオープンしました。貸出機能に重点を置いた既存の図書施設とは異なる、調査相談・情報提供に特化した「課題解決型図書館」として整備されました。

● 足寄町図書館（愛称：ルイカ）（平成30年11月18日（日））

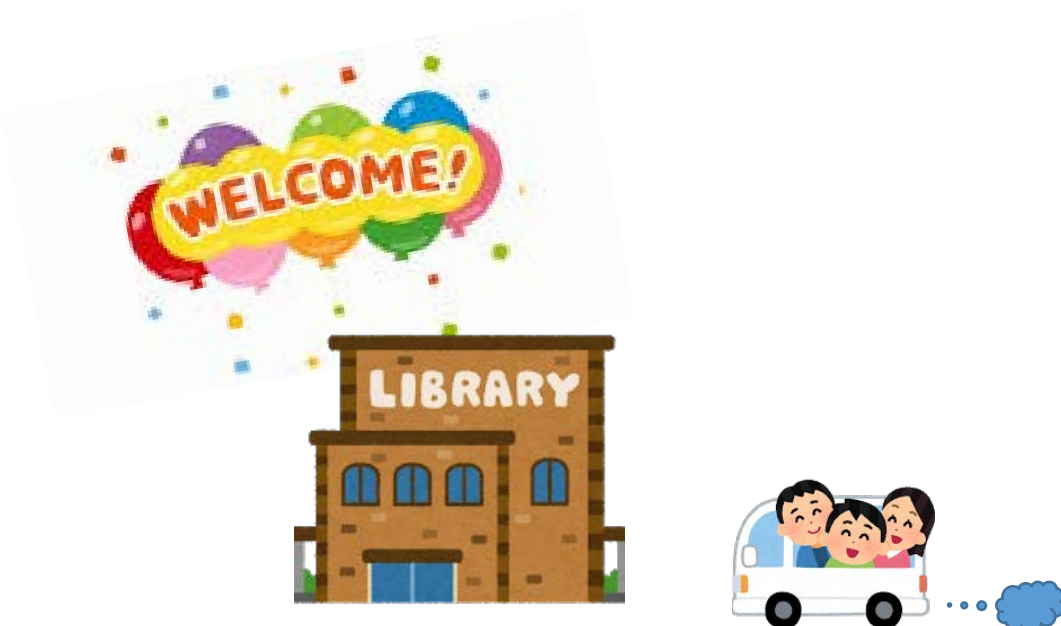
足寄町に新しく条例設置の図書館「ルイカ」がオープンしました！道内の市町村では101番目となります。

元の図書室は、町民センターの1階と2階に分かれていましたが、ルイカは、センターの改修に合わせて2階の大部分を確保し、旧図書室の約4倍の広さとなりました。調べもの・学習コーナーや、親子で本が読めるコーナーを新設しています。

そのほか、多様なニーズにも応えられるよう、幅広いジャンルの図書を大幅に増やしました。

＊

ここでご紹介したほかにも、新設やリニューアルをした図書室が何か所かあります。多くのまちで読書環境を整備する動きが見られ、読書に対する関心の高まりや、自治体における図書館の価値の高まりが感じられます。



■ 情報BOX

(2) はじめました！ 道立高等学校図書館運営相談事業

募集3校に対して

平成30年度から、当館では、道立高校を対象に運営相談事業を開始しました。今年度は試行として3校募集したところ、5校（羽幌高校、佐呂間高校、上士幌高校、札幌月寒高校、有朋高校）から申込みがあり、全校に対応しました。様々な規模の高校や通信制高校など、それぞれ特色ある学校でした。

相談内容の要望の傾向は

大きく分けて次の3テーマでした。

- ① 学校図書館の運営方法
- ② 学校図書館のレイアウトや本の並べ方
- ③ 図書局・図書委員会の活動



①②については、市町村立図書館等からもよく要望されることですが、③については毎年必ず要望があるわけではなく、高校において、学校図書館は生徒の活動の場としての意味が大きいことを改めて認識しました。当日は、生徒たちの率直な反応が新鮮でした。

相談後の状況は

事業実施後は、高校側から次のような報告があり、各校の図書館への意気込みが伝わってきました。当館としても、市町村立図書館などに紹介したい取組や工夫などを知ることができました。

次年度からは、さらに的確な援助ができるよう、模索しながら進めていきたいと考えています。

- ・ 座席のレイアウトを変更した。（机・椅子を減らして空間にゆとりをもたせたり、一部をカウンター形式にしたり）
- ・ 資料展示の見せ方に工夫を加えた。（段差をつけるなど立体的に）
- ・ 図書情報部で報告し共通認識をもった。

地元の道立高校から相談があった場合は、この事業も併せてご紹介ください。

※ 市町村立高校の場合は、従来どおり市町村活動支援事業（学校図書館運営相談）をご利用ください。

■ 情報 BOX

(3) 平成 30 年度全道図書館長会議報告

- 日 時 平成 30 年 11 月 21 日 (水) 13:15~17:00
- 会 場 札幌市中央図書館 3階 講堂
- 参加人数 60名

全道図書館長会議は、図書館に求められる役割が多様化する中、道内公立図書館長等が一堂に会し、さまざまな課題について研究協議を行い、道内公立図書館の振興を図るものです。

今年度は、(有)アリエルプラン・インテリア設計室代表取締役で、北海道カラーユニバーサルデザイン機構理事の本間純子様を講師にお迎えして、「図書館のカラーユニバーサルデザイン」と題した講話をいただくとともに、会議の後半では、参加者から挙がったテーマを元に、情報交換、情報提供を行いました。

1 講話「図書館のカラーユニバーサルデザイン」

講話では、まず、先天的な色覚の違い（色弱）による色の見え方や、主に加齢による後天的な色覚の変化で生じる色の見え方についての説明の後、誰もが利用しやすく、正しく情報を伝えるために知っておきたい、図書館の「色の情報」について、事例を交えてお話いただきました。途中、色弱を体験できるサングラスやアプリを使って、実際の見え方を体験する時間もあり、見え方に対する理解が深まりました。



2 情報交換・情報提供

事前にいただいていたテーマを元に情報交換を行いました。図書館の利用促進、学校との連携、汚損・破損本の対応、高齢利用者への対応、コピーサービス等、幅広いテーマが挙がっており、限られた時間の中、実践事例等を持ち寄り、情報交換が行われました。また、今年9月6日に発生した胆振東部地震について、特に震源に近かった日高管内の参加館を中心に状況報告があり、改めて災害への備えが重要であることを認識しました。



上) 講話の様子
下) 見え方の違いを体験中

情報提供の時間には、ニューオープンの札幌市図書・情報館（10月7日）、鷹栖町図書室（11月17日）、足寄町図書館ルイカ（11月18日）について各館から報告がありました。また、剣淵町絵本の館からは、来年2月16日から開催の「第28回けんぶち絵本まつり」について案内がありました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

道立図書館からのお知らせ

● アスベスト除去工事等について ●

現在、アスベスト除去工事等に係り、工事が終了する平成31年3月末まで臨時休館させていただいております。（貸出し・レファレンス等は行っています。）

長期間にわたりご不便、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、引き続きご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。



【今後のスケジュール】

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 2月15日（金） | アスベスト除去工事終了＜予定＞ |
| 2月19日（火）～20日（水） | 窓口業務休止＜予定＞ （仮設庁舎から本庁舎へ移転） |
| 2月21日（木） | 本庁舎臨時窓口再オープン＜予定＞ |
| 4月2日（火）～ | 通常開館＜予定＞ |

● 「平成31年度市町村活動支援事業案内」について ●

現在、支援事業等に係るアンケートの集計をしているところですが、来年2月上旬頃に、各教育局を通じて平成31年度の事業について募集をする予定です。

お申し込み予定の事業がある場合は、関係各課・学校等調整の上、各教育局あてお申し込みください。

あけぼのつうしん No. 64

発行日 平成30年12月21日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>